

【連携形態選定シート】

【フェイスシート】

水道事業者等の名称： ○○(市・町・村)水道事業

事業概要： 給水人口
給水エリア
水源
…

現状評価・課題： (例)
・浄水場の老朽化が進み、早急な耐震工事、建て替え更新が必要
・職員の高齢化が進み、技術の継承が困難。また、将来的には業務遂行にも影響が及ぶものと想定される。
…

策定済みの将来計画等： (例)
・地域水道ビジョン ○年○月策定
・庁内において長期収支計画検討済み

導入を検討した連携形態

直営(個別委託を含む) DBO コンセッション

第三者委託 PFI 完全民営化

DBO+第三者委託 PFI+第三者委託

個別委託+第三者委託

【連携形態別検討シート】

連携形態： _____

連携形態の概要： _____

導入が想定される業務範囲： _____

連携形態導入による効果： _____

連携形態導入に係る課題： _____

連携形態導入の実現性： 有り・状況次第で有り・なし

(行政事情の勘案) (行政事情を勘案する必要がある場合は記入)

(2) 行政事情等の勘案

- ・ 導入可能性調査等を行うべき連携形態の選定を行うに当たり、下表に示すような水道事業者等における行政事情等を考慮する必要がある場合は、当該行政事情等を勘案した上で選定を行う。

【行政事情等の例】

関係者等との合意形成	
首長の意向	首長の公共事業、公共サービスに対するスタンス等について考慮する必要がある。
議会の反応	連携形態の変更に係る議会の反応等について考慮する必要がある。
水道利用者の反応	連携形態の変更に係る水道利用者の反応等について考慮する必要がある。
地方公共団体をめぐる状況	
市町村合併の予定等	市町村合併の予定や可能性について考慮する必要がある。
水道事業者等をめぐる状況	
周辺の水道事業者等との広域化の予定等	周辺の水道事業者等との広域化の予定や可能性について考慮する必要がある。
職員の採用動向	水道事業者等における職員採用については、市町村一般部局における採用動向に左右されることについて考慮する必要がある。
水道料金の値上げに係る動向等	安定的な水道事業経営を確保するためには水道料金の値上げが必要である場合であっても、首長の意向や議会の反応等により値上げ回避や段階的値上げ等が実施される可能性があることを考慮する必要がある。

① 関係者等との合意形成

- ・ 現状の連携形態が変更され、新たな連携形態が導入されることに関して、関係者等による理解が得られるかどうか、又はどのようにしたら理解を得ることができるか等の検討を行う。
- ・ 合意形成を円滑に図るためには、日頃より水道事業の現状等について情報公開に努めることが重要であるとともに、地域水道ビジョンの策定や連携形態に関する比較検討の初期段階より、関係者から幅広く意見を聴きながら進めていくことも一案である。

② 地方公共団体をめぐる状況

- ・ 市町村合併に伴い、他の水道事業者等との事業統合、経営統合を行う予定又は可能性がないかどうか、確認等を行う。

③ 水道事業者等をめぐる状況

- ・ 他の水道事業者等との広域化、職員確保の見通し等の水道事業者等をめぐる状況の変化により、連携形態の変更に関する検討を行うに際しての前提条件が、今後、大きく変更になる可能性がないかどうか、確認等を行う。

(3) 検討結果の活用

- STEP 4において選定した連携形態は、あくまでも初期検討段階における検討結果であり、次のステップ（詳細検討段階）として、導入可能性調査の実施などその後の詳細な検討を進めていく必要がある。
- 導入可能性調査の実施に当たっては、「第三者委託実施の手引き」、「水道事業におけるPFI導入検討の手引き」、各検討手法等について公表されているガイドライン等を活用することが考えられる。
- なお、STEP 1からSTEP 4までの検討結果については、例えば、地域水道ビジョン等の長期計画の策定又はフォローアップを行う際の基礎資料として活用することも可能。

參考資料

